会 議 録

会議の名称	市民会館 100 人会議 第3話
開催日時	平成 28 年 10 月 18 日 (火) (午前 午後) 7 時 00 分 開会 (午前 午後) 9 時 00 分 閉会
開催場所	市役所南館 3 階 防災会議室
出席者	【市側 5人】 市長 福岡 洋一 企画財政部長 秋元 隆二 市民文化部長 田川 正文 政策企画課長 小西 哲也 文化振興課振興係長 田中 勇輝 【60歳以上の市民10人(男性6人、女性4人)】
事務局職員	向田政策企画課長代理、乾政策企画課主幹、 川嶋政策企画課職員、岡村政策企画課職員、吉田政策企画課職員 【 5 人】
開催形態	公開
配布資料	(1) 「市民会館100人会議」事前アンケート(市民会館跡地への想い) 意見一覧(2) 「市民会館跡地活用に関するアンケート」の回答状況について(3) 事後アンケート
傍聴人	4人

 発言者	発 言 内 容
小西政策企画課長	それでは、皆様、改めましてこんばんは。 定刻になりましたので、ただいまから市民会館100人会議を開催させていただきます。 皆様、本日はお忙しい中、お集まりをいただきましてまことにありがとうございます。また、皆様には、確かな未来ミーティング及び市民会館100人会議への参加にお申し込みをいただきまして、まことにありがとうございます。改めて、お礼申し上げます。 私は、市民会館100人会議の運営を担当しております企画財政部政策企画課長の小西でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。 (配布資料の確認)
小西政策企画課長	それでは、本日の大まかな流れをご説明させていただきます。この後、市側の出席者を紹介させていただきました後、皆様から自己紹介をお願いしたいと考えております。 その後、福岡市長に進行をお願いいたしまして、皆様から市民会館跡地でしたいことなどのお話をしていただきながら、対話を進めさせていただきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。また、終了時刻ですけど、午後9時を予定しておりまして、最後に簡単なアンケートと参加していただいた皆様に市民会館跡地への思い、何がしたいかなどを改めて、用紙のほうにご記入をいただいて、カメラに向かって一言コメントをいただきたいと考えておりますので、午後8時45分をめどに対話を終了させていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。それでは、市側の出席者を紹介させていただきます。
小西政策企画課長	それでは、皆様との対話を始めさせていただく前に、市長から挨拶をさせ ていただきたいと思います。
福岡市長	改めまして、こんばんは。夜分になってまいりましたけど、お越しいただきまして、誠にありがとうございます。 本日は、市民の皆さま5,000人を無作為抽出させていただいて、その中から参加の意向をいただいた皆さんにお越しいただいております。なぜ自分が入らなかったんだ、というような、無作為抽出に選ばれなかった方々

	議事の経過
発言者	発 言 内 容
	も結構いらっしゃる中ですので、しっかりとした議論が皆さんとできれば
	と思っております。
	今日、10月18日ですが、ちょうど私が市長に就任して半年経ちました。
	皆さんの期待と不安を感じながら過ごしてまいりましたけど、この半年間
	で、この大阪府内ですと、市長なり町長なりというところで、非常に40
	代の市長が増えたという印象です。私自身41歳ということで、箕面市長
	や大阪市の市長と同じ歳でして、お互いいろんな意見交換をしながら、し
	っかりとこの市政運営をしていこうということで頑張らせていただいてお
	ります。
	この市民会館でございますが、皆さん方のいろんなお話を頂戴するにつれ、
	やはり茨木市にとって一番重要な市政に関するテーマであると感じており
	ます。市民会館、まずは物理的にも、まちの中心にあるということがござしいます。また。この末日今館は四年11年にできていま。中では様式され
	います。また、この市民会館は昭和44年にできて以来、中で結婚式をありばられたますいとよります。
	げられた方もいらっしゃったり、子どもたちがいろいろな発表会を行った
	りということで、市民の皆さんのたくさんの思い出の詰まった建物であると感じております。
	~
	かし、皆さんの思いは、市民会館にはしっかりとあると感じておりますし、
	今、この市民会館を建てかえるということになったとしても、あの場所は、
	物理的な中心地でもあり、たくさんの市民の皆さんの思いが詰まっている
	という意味で、心の中心地でもあるというふうに感じております。これは
	市長のわがままかもしれないですけど、建てかえるにつれ、その心の中心
	地という部分はゆるぎないものであると思っております。ですので、仮に、
	「あそこには何も要らないよ」、「売ってマンションでも建てたらいいよ」
	というご意見をお持ちの方もいらっしゃるかもしれないですけど、私自身
	は、あの場所にマンションを建てるとか、そういったことは何ひとつ考え
	ていないというところでございます。
	いずれにしましても、その後、どうするのかという部分については、一か
	ら、皆さま方からご意見を頂戴して進めてまいりたいと思っております。
	そして、今、閉館ということで、皆様にはいろんなご不便をおかけしてお
	りますが、市民会館は、耐震という問題と、バリアフリーが全くできてい
	なかったという問題がございます。耐震補強をするという選択肢もあるの
	ですが、耐震補強を行ってもバリアフリーは実現しないということもあり
	まして、やはり建てかえるしかないだろうと思っております。
	跡地活用につきまして、細かいところ、理念的なところは、皆さん方から
	今から頂戴するのですが、庁内の議論としては、市民会館だけではなくて、
	隣の福祉文化会館、こちらも実は耐震が、市民会館ほどではないんですけ

	議事の経過
発言者	発 言 内 容
	ど、アウトだというふうに診断を受けておりますので、市民会館と福祉文化会館を一体として建て直すのかどうなのかというところも、一つ議論の余地があるところでございます。閉館となっている市民会館を見て、「恥ずかしいから早く壊してほしい」というお声もたくさん頂戴しております。今のところ、市民会館だけを建てかえるのか、福祉会館をともに建てかえるのか、その選択肢によって、解体の仕方がかわるということでございまして、今、閉館された状態で少し放置しているということでございまして、今、閉館された状態で少し放置しているということでございます。皆さんには、やきもきした思いをさせているんだと思いますけど、ご容赦いただければと思います。もっとも、やはり解体のやり方とか費用がかわったとしても、皆さんのお声が非常に強くて、まずは取り壊したほうがいいんだということになるかもしれないのですが、それはまだ先の話かなというところでございます。そして、市民会館の建てかえについては、今まで庁内で、ばらばらとした議論はされてきたんですが、手続としては何ひとつ積み上がっていないという状況で、しっかりと手続を積んでいきたいというところでございます。何分にも、たくさんの皆さんの税金を使って行う事業ですので、軽挙妄動して軽々しい決断をして、おかしなことにならないようにとは思っております。以上を踏まえまして、皆さんから本当に忌憚のないご意見を頂戴できればというふうに思っております。今から2時間ですが、どうぞよろしくお願いいたします。それでは、今から自己紹介をいただくんですが、お名前とご職業と、あとは茨木市に在住歴、何年お住まいなのかということと、何かしら茨木市に対する思いや思い出、茨木市について一言、言及いただけるとありがたい
	です。お名前とご職業と在住歴と、茨木市について何か一言、4点お願いできればと思っております。 それでは、林さんからお願いします。着座のままで結構です。
市民	林と申します。よろしくお願いします。 先ほど始まる前に、この会が年代ごとの皆さんの集まりだということをお 聞きしまして。ここは、高齢者と言ったらおかしいんですけど、皆さんの お集まりということ。今、実は私、67歳なんです。恐らく、この皆さん の中では若いほうに入るんじゃないかなと思っております。また、在住歴 ですけど、茨木市ですね、40年ほど住んでおります。その間、私ども、 地区のほうの自治会を立ち上げました関係上、いまだに会長職をさせてい ただいております。本当に、自治会も非常に会員さんが減るという大きな 問題を抱えておりますけど、やはり茨木市に在住しておりますので、ほか

	議事の経過
発言者	発 言 内 容
	の市の方々も意見を聞きますけど、何とか自治会が活力を取り戻して、やはりもう一度楽しい茨木市をつくってきたいな、そういうふうに思っております。これからも、また今回、いろんな問題が出てくると思いますけど、私も選んでいただきましたので、いろんな意見を差し上げたいと思います。よろしくお願いしておきます。
福岡市長	斉藤さん、よろしくお願いします。
市民	斉藤弘子です、よろしくお願いします。 私は茨木生まれの茨木育ちで、外で暮らしたことはございませんので、本当にここが田んぼだったころから知っていますので、すごい、随分、茨木も変わったものだなと思います。それと、このユーアイホールの名前を私の同級生がつけたんです。だから、何かにつけてすごい思い入れがあるんですけど。今日はこんなに人数が少なくて、私、もっと大人数の会議だと思って出席させていただいて、今びっくりしているんです。でも、主婦以外したことございませんので、人様の前でお話しすることができないから、今ちょっとこんな感じです。
福岡市長	いい感じだと思います。しゃべれていると思います。大丈夫ですよ。
市民	大丈夫ですか。本当に、あそこで入ってびっくりしました。人数が余りに も少なかったもので。恐れ入ります。
福岡市長	はい。陶山さん、お願いします。
市民	陶山文一と申します、よろしくお願いします。 私は、茨木に住みまして、約42年ぐらいになりますかね。ただ、私の家内とそれから父親なんかも、ずっと茨木で住んでいたようで、そういう関係で私も大変、この市については非常に愛着を持っている一人だと思っております。 私は、アンケートにも書いておきましたんですが、実は詩吟をやっておりまして、それもシニアプラザいばらきというのが、桑田にありますけど、昔の桑田の老人福祉センターですね。ここで、大体8年、9年ぐらい、詩吟をやらせていただいております。そういう関係で、いろんな市の伝統文化のこういう集まりに顔を出しているわけです。特に詩吟だけじゃなしに、民謡とか謡曲とかね、そういう会にも出させていただいて、非常にこういう伝統文化について、関心は深いんです。それで、たまたま今度、市民会

	議事の経過
発言者	発 言 内 容
	館の問題が出ましたので、応募させていただいた次第です。そういうことで、いろいろと後で、お話もさせていただきたいと思っています。よろしくお願いします。
福岡市長	よろしくお願いします。
市民	大森栄子です、今67歳で、先ほどの方とよく似ているんですけど、私どもも山手台というところに今住んでいるんですけど、家を買って引っ越してきてから、子育て、それから働いて、10年ほど前に退職しました。それから地域のコーラス部に入りまして、ずっと市民会館の発表会に向けて1年間、週1回練習をしてきまして、この会のはがきの案内がきたときに、ぜひともこの市民会館がなくなるとか、次できないということは、とても打撃というかあれなもので、すごく場所もいいですし、駐車場も広いですし、今年は立命館のほうをお借りしていますけど、駐車場もないというような、すごく少ないし、ずっと借りられるものじゃないというのは、今年の役員からも聞いておりましたので、ぜひお願いしたいと思って、来ているんです。仕事はもちろん何もしていません。主人と2人、今は2人暮らしなんです。あと、市民会館は子どもが、確か成人式のときにもお世話になったんじゃないかなと思います。ぜひ、思い出、私らは現役で、コーラスの舞台にさせていただきたいという強い気持ちで今日寄せてもらいました。
福岡市長	ありがとうございます。
市民	高柳溥、溥という字はこれちょっと難しい字なんですが、昔、満州国の皇帝陛下がこの字を使って溥儀と読んだ。それを、たまたま生まれたときに来られて、おやじがこの名前をつけたという。日本人です。で、茨木市民です。昭和10年3月の生まれで、16年、大戦が始まったときに、国民学校ができて、そのときの第1回入学生。終戦は中国で迎えました。引き上げて帰ってから親戚を転々としたんですが、あっち行ってもこっち行ってもよく食べるガキだったもんですから、いじめというか非常に苦労しました。昭和22年に国民学校の最後の卒業生、だから、小学校は出ていません。国民学校出です。で、新制中学の第1回入学生。奈良県の畝傍高校を出て、大阪府立大学工学部に入りました。順調にいけば、入ったところまで順調だったんです、中で大病しまして、1年間休学しました。それから、お金がなくなって休んで、学校の先生をいたしまして、昭和34年に卒業して、

	議事の経過
発言者	発 言 内 容
	38年に結婚したんですが、その1年前に茨木市に引っ越してきました。で、53年ほどたっています。後は、住んでいるというだけで、市のためには何もしていないのが実情です。 職業は、学校を出た後は、就職難でいろんなところを転々としたんですが、最後は高槻の酉島製作所というポンプメーカーに勤めました。そこを定年退職した後、流通コンサルに6、7年おりまして、それも67歳か、68歳で退職した後は、もう食べることさえできればいいじゃないかということで、フィットネスに行ったり、散歩をしたり、その程度だったんです。今回のこれに応募しなさいというような感じやったもんですから、ぜひ何か茨木市のためにできることがあるんじゃないかということで応募しました。幸いにも選んでいただいて、ありがとうございました。これから、現役を離れてもう10年以上、頭はほとんど使っていませんので、そういうことを考えながら、何かやってみたいなと思っています。以上です。
福岡市長	よろしくお願いします。
市民	私は、藤本知子と申します。 6 0歳から定年になって、主婦で今過ごしております。 茨木市に嫁いできて、ちょうど5 0年になります。主人と一緒にここへ来ました。それから随分変わりました、茨木市も。住みよい茨木市だなと思って、どこへも行きたくないような感じです、茨木市ね。 私は、後期高齢者と言われる高齢者に突入しまして、ちょうど7 5歳です。最近、ここ1か月ぐらいで、茨木市が変わっているなという感じがしているのは、福祉とか老人会とか自治会に私もよく参加するんですけど、最近、特に「サロンができましたからいらっしゃい」とか、それから「老人会で、今日も卓球大会があるから来ませんか」とか、何かお呼びがすごい盛んになりました。うれしいような悲しいような、そういう気持ちでいます、今の茨木市の変わり様というんですかね。そう思います、最近は。今おっしゃったように、私もここへ来させていただいたんですけど、こんな晴れがましい所へ来て、帰りたいような気分になりましたけざ、市長さんにお会いして、お話を聞かれる機会が余りないので、嬉しいような帰りたいような、そんな気分になりました。それから、この市民会館の跡地ですかね。やっぱり市の中心地ですし、立派な茨木市のシンボルみたいになっていただきたいような気はしますけど、いろいろ皆さんにお聞きして、私たちはもう終わりなんですから、若い人にいろいろ聞かせていただいて、立派な市民会館にしていただきたいと思います。よろしくお願いします。

	議事の経過
発言者	発 言 内 容
市民	桃井敦司と申します。下中条町に住んでいるんですけれども、転勤があって茨木に来て、今年で40年ちょうどになるんですけど、茨木だけでずっと住んでいます。 職業柄いろいろ出たり入ったりはしているんですけども、現在も会社のほうに勤めさせていただいて、茨木市の仕事などいろいろさせていただいています。茨木市の場合、初めて来たんですけど、ちょうど交通の便も、大阪にも京都にも、高速道路だとか、鉄道に関しても非常に便利がいいところで、なおかつ行政機関ですか、国の、大阪府さんだとか、それも私自身考えると、人口が多い高槻市さんじゃなくて、茨木市のほうに全部集まらせているということで、非常に便利な場所だなと思いながらずっと40年間住ませていただいております。 今回、応募させていただいたのは、私も人前に出てどうのこうのという話も余りしたことがないもので、職業柄、何かお手伝いできればしたいなということで、応募させていただきました。以上です。
福岡市長	よろしくお願いします。
市民	三好裕子と言います。茨木に住んで45年ぐらいになります。 今、67歳です。私は一応仕事をしていて、今、退職したんですけども、 これに応募するのも、どうしようかなとすごい迷ったんです。それで、ぎ りぎりまで持っていたんですけど、えいと思って。100人やったら、そ んなに意見を言わなくてもいけるやろうと思って、皆さんのお話を聞くだ けでも参考になるかなと思って参加させてもらいました。ところが、こん な状態でびっくりしています。
福岡市長	はい。
市民	細原行彦と申します。 私も40数年ですかね、茨木に来て。現在は退職して11年になるんですけど、家でぼちぼちする過程、もう一つは退職後何もしていないので、何かしないといかんなと思いまして、囲碁にはまっています。しばらくは、茨木市がやっておられる生涯学習センターで囲碁のプロの方が来られまして、教えてもらうと。囲碁は、なかなかやってみて、その奥深さを感じているんです、正直言って。自分の生き方の中にも、あと残り少ない人生ですけども、味わい深い生き方をしたいなという思いが一方ではあります。私、この市民会館の100人会議については、市民会館が建てかえるか何かということで無くなるということについては、今までいろいろな面でお

	議事の経過
発言者	発 言 内 容
	世話になったことがありますので、非常に嫌だなと。やはり先ほど、いろんな方が言われましたように、市長さんも言われたように、まちの真ん中やし、すごく茨木市民全体にとって、いろいろと寄り添う接点になるような貴重な場所だからね、別にデラックスな、ゴージャスな建物を建ててもらわなくてもいいんです。我々、年金者だったら、気軽に利用できるような、それで基本的に安く、やはり歳とったときは何かと不便になりますから、体も不自由になりますので、先ほどおっしゃったようにバリアフリー。優しくて、安くて、それで使い勝手のいいような建物で、何か御殿のような建物を建ててもらう必要は全然ありませんので、できるだけ、僕やったら耐震で補強して建てかえられるんやったら、それであってほしいなと思うぐらいの気持ちで参加させていただきますので、よろしくお願いいたします。
市民	塩田寛と読みます。 出身は茨木でも福井というところで、農業をやっています。小学校は地元でしたけど、中学校はそこの養精中学、高校はそこから見えるそこの高校でして、大学は京都のほうへ行かせてもらいましたけど、それからずっと農業。だから、この建物も建ったのも、建てる前の建物も、みんなわかっています。だから、斉藤さんぐらいに私もわかっています。今で、昭和25年生まれなんで、66歳です。それで事前アンケートの中で、私は6番目のことです。旅をするのが趣味でして、年中どこへでも行っています。それで、行くときは、車で行きます、マイカーで行きますんで。寄るところは大体、道の駅です。そこの地域、そこのまちの色が全部出ています。で、茨木を中心に余りないんですね、この周辺は。その地域のことを知りたい、だけど道の駅でも、ただ置いてあるだけなんですね。何も宣伝もないし、サービスもない、情報もない、ここはどこやと。そしたら、自分で探しにいかなあかんわけですね。で、ここは、私から言うと若い時分にできましたんで、二十歳前後にできましたんでね、本当にシンボル的で、大きなものが建ったなと思って。それから、しばらくすると地下駐車場もできましたし、それで周りの建物も作っていったりということなんですけど、おっしゃったようにやっぱり茨木のシンボル的なところですし、何せJRと阪急のちょうど歩いた真ん中ぐらいなんです。大体、ここら辺が高いんです、昔からね。この道路が高橋筋と言いまして、高橋ですね、あの辺が。
市民	はい、そうです。

	議事の経過
発言者	発 言 内 容
市民	多分、一番高いところなんです。それで、皆さんもここへ来ると、やっぱり茨木やなという。それで、6番に書いているように、やっぱり旅人が来て、ここへ通ったときに、あ、茨木すごいなと思われるようなものがあったらいいなと、そう思っています。
福岡市長	ちなみに、農業は何をつくっておられるんですか。
市民	大体メインはお米です。昔から、福井は堂島の米相場がたっている時分から、栗生福井と。栗生というのは、福井でも箕面のほうへ行くと栗生地区がある。栗生福井というのが銘柄で、お米の相場に出たわけです。そういうところで、昔から酒米とかが主力ですんで、やっぱりそれをメインにして、それだけではいけませんから、あらゆる野菜をつくって、今直売所へ出しております。
福岡市長	昔の雄町とか何か、酒米をつくっている。
市民	酒米は雄町です。そういうことです。
福岡市長	ありがとうございます。 一応、一巡いたしましたので、それでは本題の市民会館をどうだというご 意見を、5分ということで、頂戴できればと思います。 順番で林さんからお願いします。
市民	私は、アンケートの1番上の項目を書かせていただいたんですけど、コンサートホールか、今まででもあそこでピアノの発表会とか、先ほどおっしゃったようなコーラスだとか、いろんな発表会が行われていましたんですけど、できればオーケストラが呼べるような、そういう音響装置で、ぜひつくっていただきたい。というのは、近くに、大阪もコンサートホールがありますし、兵庫の西宮にもあります、京都にもあります。意外と近くには立派なコンサートホールがあるんで、できれば定期的なコンサートを開催できるような、そういうものが一つ茨木市にあってほしいなというのが私の考えです。というのは、私、高校のときに吹奏楽部に入っていまして、国は富山なんですけど、そこの高校が割と、全国大会に出る学校だった。私のときには全国第3位になりました。そういう関係で、音楽に非常にあれを持っていますんでね、今の若い人たちにそういういろんな機会を贈っていただければ。本当の音楽ですね、今も立派な音楽活動をされていますけど、そういう本格的な音楽を聴ける場所、特に、今、立命館の学生さん

	議事の経過
発言者	発 言 内 容
	も来ていますので、そういう意味ではそういう人たちの文化的なホールに してほしいなと思っています。以上です。
福岡市長	今も、クリエイトセンターとかにも、一応ホールがありますが、その辺で はだめですか?
市民	確かに、いろんな音楽会をされています。ただ、本当に本格的なオーケストラを呼ぶとなれば、それでいいのかなということもありますので、そういうホールがあるとしても、できれば大阪フィルだとか有名なオーケストラを呼べるぐらいの施設があればなと思っています。
市民	ちょっとよろしい? 僕、よくわからへんけど、コンサートホールって言ったら、それだけの目 的のホールになるんですか? それを多目的に、いろいろ使うということは?
市民	ですから、全体をコンサートホールにするんじゃなくて、一部というかメーンホールをコンサートホールにしていただいて、小ホールというか、いろんな会議室も当然附属してつくっていかなければいけないと思うんです。ですから、茨木にこんなすごいホールがあるんだよという、そういう目玉にしたいなと。先ほど、塩田さんが旅に行って、やっぱり地方の目玉というか、そういうものがあるとお聞きしましたので、茨木市にこんなすごいコンサートがあるということが、もしできればいいかなという考えです。
市民	それは納得できます。多目的に使うというのは中途半端になるんです、やっぱり。それなりの価値はあります。おっしゃるとおりです。
市民	僕はね、やはり茨木市全体が、いろんな階層の人たちが気軽に使えるというのを主眼に置いてほしいなと思うんです。だから、そればっかりやったらね。音楽が嫌いではないんですけどね、そればっかりになったら、ほかが除外されましてね、何か使いにくいんと違うかなという思いがあるし。もう一つ、敷居が高くなるんと違うかと、僕らみたいなね性格やったら。
市民	私もこのコンサートホールのほかに、もう一つ書いているのは、茨木市の 行政に参加できるような場所をつくりたいというのも言っているんです。 というのは、私らの、今ここに来て初めて、福岡市長さんは以前から存じ

	議事の経過
発言者	発 言 内 容
	上げているんですけども、どうしても市会議員さんが市と会議をなさって、法律を作っていくか、でどうするか。だけど我々、市会議員って知らないんですよね。私、知らないというか、ちょっと地元で市会議員さんの後援会の会長をしていますので、その人の市政報告会を通してしか、わかっていない。だけど、一般の人たちが、やはり気軽にこうして面と向かって、市長さんをお呼びして、あるいは各部長さんをお呼びして、これはどうなっているんだと、議員さんを除いてですね、そういう場所もこの中に、市民ホールですんで、我々が主導できるような会議、こういう会議ができる場所も当然小ホールというか、作っていけばいいなと思っています。ですから、そういうことでは、市民のためのホール、基本的にですよ。
市民	そうそう、それはいいことやと思うね。
市民	それが一番。ですから、コンサートホールだけを作るんじゃなくて、その周りに、当然、何階建てになりますんで、そういうホールもいいかなと、そういう部屋もですね。こうして、今回選ばれなかったら、市長とこういう近くで、恐らく話せる機会はないと思います。我々は選ばれた人間ですけど、選ばれなかった方、なかなか機会がないと。そういうことも含めて、もう少し茨木市政の、行政に、我々も関ってもいいんじゃないかなと思います。
福岡市長	続いて斉藤さん。
市民	今の、林さんのご意見をお聞きしまして、茨木にそんな素敵なコンサートホールができたら、予算が許すんでしたら、そんな素敵なことはないなと思って、今、お聞きしているんですけど。私は、気軽に、7番のことを書いたんです。だから、普通にお金をかけずに、気軽に皆さんが同窓会とか、ちょっとした友達同士との談話とか、それからお稽古事なんかのね、そういうことに使わせていただいたら、市の中心ですから、いいなと思って。それと、やっぱり緑が欲しいですので、公園って、この7番を書いたの、私なんですけど、もう気軽に。予算が許せたら、コンサートホール、そんな素敵なものができたらうれしいと思います。
福岡市長	今、写真がちらちらと出ましたけど、そんな感じですか。

	議事の経過
 発言者	
-	
市民	オープンカフェみたいなもんですか?
市民	もう、こんな感じで、本当に。このごろ、私も近いもので、立命館によく寄せてもらうんです、お友達と遊びに。そしたら、すごくいい感じで。まだ、ホールには入ったことございませんし、今度11月の23日にあるらしいですね、コーラスの。
市民	はい、あります。
市民	お友達が出ますので、その時はぜひ応援に行こうと思っていますので。 まだホールは入ったことございませんけど、立命館はしょっちゅう遊びに 寄せてもらって、学食でお食事させてもらったり、レストランでお食事さ せてもらったり。何か立命館は若い方がいらっしゃるからすごいパワーを いただけるんです。それで、よく寄せていただいていますから、ああいう 感じのが、ここにできたらいいなと思って、このようなことを書かせてい ただいたんですけれども。
福岡市長	はい、ありがとうございます。陶山さんは、いかがですか?
市民	私は、2番目を書いたんですけども、こういう建築あるいは施設のことについては、全くの素人ですからわかりませんけど、できれば、素人考えでは、いろんな、要するに一言でいえば、多目的のホール、そういう場所を作っていただいて、音楽とか演劇とか講演とか、そういうことのできる場所、と同時に、今おっしゃったように若い方がたくさんいらっしゃるわけですから、こういう方にも利用できる場所も合わせてつくっていただいたらという考えです。 私も今、先ほども申し上げましたけど詩吟をやっていまして、現在閉鎖中の市民会館を長い間使わせていただきました。できれば早く、また作っていただいて、あそこを利用したい思っております。毎年、我々、発表会をやっているんですけど、私たちが所属している会が、これは年に1回、5月にやっています。そのほかに、茨木市のいろんな各会派の市民連盟というのがあるんですけどね、詩吟の連盟があるんですけど、そこが今度10月の30日に、今おっしゃった立命館でやることになっております、私も出ますんですけど。やっぱり市のそういう施設があればいいなと。あそこ、やっぱりいろいろと向こうさんの都合が主体になりますから、我々が利用すると、なかなかうまくいかないというように聞いていますし、そういう意味で、ひとつ今申し上げたような形で、できれば

	議事の経過
発言者	発 言 内 容
	早く。これは、お金の関係の問題ですから、なかなか難しいとは思うんですが、そういう考えを持っています。
福岡市長	はい、それでは大森さん、いかがですか。
市民	先ほど、お話ししたんですけど、細原さんも言われていたように、ただ入れ物にお金を何ぼでもかけてというんでは、私も反対なんですよ。できるところは利用して、市民会館といったら音響が悪いんですね。私らはわからんくせに言って恥ずかしいんですけど、そういうパネルでも貼ったらよくなるんかどうかわかりませんけれど、できることなら費用は余り。だって建物だけ作って、あと、がらんと空虚な、この6番の方も書いてある、空虚な感じのそういう建物にはなってほしくない。やっぱり、どなたでも、若い人も中でお茶を飲んだり、若い方の女子会とかできたらね。そんなんもあっての、よく使える市民会館にするんだったら、してほしいなと。今も、あの福祉会館ですか、着がえとか、ああいうのは全部、あっちもなかったら、リハーサルの部屋とかドリームホールですかね、いろいろ目一杯使わせてもらっているんじゃないでしょうかね。大体11月23日が定例というか大体決まっているんです。本当に、安くと言ったら変ですけど、より今まで以上にいろんな人が利用できる。だって、成人式なんか、もし、この市民会館を使えなかったら、今はどうされているんですか。
市民	今年は立命館でされたらしいです。
市民	そうですか。本当に市民のシンボルというか、誇りに思えるようなものに、 実のある会館につくり直して、再生していただきたいなと。
福岡市長	市民会館、結局安く利用できていたのは、ひとえに古いからというのが一番なんです。あと、おっしゃっていただいたように、市民会館のホールは空調の音なんかがして、空気の都合で音が全然前に飛んでいないとかいうのを聞きました。
市民	そうなんです。何か歌っていても響かないから、すごい不安になるんですよ。舞台は大きいですから、そんなに小さくまとまって歌いませんので、何か一人で歌っているような、吸収されちゃうような。もうちょっと音響というか。それで、コンサートなんかも、今のところだったらできないんですよ。

	議事の経過
発言者	発 言 内 容
市民	ちょっとできないんですよね。コーラスでそれだけの影響を受けているんであれば、なおさらですね。
福岡市長	わかりました。高柳さん。
市民	今まで、市民会館を使わせてもらったのは、金婚式のときにご招待いただきまして、それが3年ほど前。そのときの印象からいくと、あそこに座ったのが、それ以前が何回かあるんですけど、マイクの通りが余りよくない。エコーが残るというのか、やっぱり音響の話、反射だとかいうことだろうと思う。それで、古くなっていたから、椅子のクッションなんかもよくなかったんじゃないかなと。
市民	前後がないでしょ。前が、膝が当たるでしょう。
市民	ああ。
市民	いや、私、余り背が高くないんで、脚が。
市民	いやいや、そんなことないんですけど。狭いです、前が。
市民	ああそうですか。それはちょっと感じていないんですけど。
市民	それで、ちょっと急になっているから、違和感というかね。感じとして大きく、何だか上から見下げるような感じで、恐怖心じゃないけど、ちょっとありましたね。
市民	それ以前に市民会館を利用させてもらったというのは、孫が1歳前後の子どもたちが小学生のころに、少年少女合唱団なんかでやっているということで、父兄として見に行ったというのが、毎年のようにあった。それぐらいで、余り利用した実績がないもんですから。よそのところも、余り見た、入ったこともないんで。ただ、先ほどの話を伺っていると、多目的な部屋よりはコンサートホールとしての目的を持った部屋を作ったほうが、広さは別ですけど、それのほうがいいんじゃないかなと思います。あわせて、先週だったかな、この9階、10階で美術展をやっていまして、それは毎年寄せてもらっているんですけど、何となく狭いところをこちょこちょ回っている、ああいうのもできるような部屋があったらいいんかなと。

	議事の経過
発言者	発 言 内 容
	さらに言えば、奈良県の県庁舎内にある、奈良市にある、屋上から見る見晴らし、非常にいいんですよね。それで、もちろん東を向いたら何がある、南側に何が見えるというイラストも含めて説明板があって、非常に人気がある。もちろん上がるのは無料ですし、パンフレットなんかも置いてある。似たようなのが、大阪で堺市の市役所、22階か23階が、その辺なんですけど、ちょっと高いんですね。見晴らしが非常によくって、同じようにやっぱり説明をしてはる。ガイドもついていまして。こういうようなものが屋上にあればいいのかなと思いました。だから、部屋をどんなものを作るかって、先ほどのいろんなご意見出ているコンサートホール。多目的というのは余り、無目的になるんじゃないかと、それで、専用の部屋というふうに限ったほうがいいんかなと思います。以上です。
福岡市長	南館をこちらから上がったら、スカイレストランがありますが。
市民	上から見えますけども。
福岡市長	足りないですか?
市民	奈良県庁だとか、堺市なんかにいくと、ここに見えるのは何ですよ、とい うそういうのもないですし。ああいうのがあったら、もっといいんかなと。
市民	そうですね。表示していただいたら、いいと思います。私も、この間、お 友達と行って説明して来たんです。あれが何で、あれが何でって言って。
福岡市長	わかりました。
市民	表示をつけていただいたら、よくわかっていいと思います。それと、私も 絵が好きで、油絵を描いたりしているんですけれども、やっぱり今おっし ゃったように、展示のスペース、市美術展の感じですけど、あれもう少し 広く、ちょっとせせこましいですね。後ろへ下がって見られないんですよ、 お部屋が狭いですので。だから、もうちょっと広々としたお部屋で展示し ていただいたらありがたいと思いますけれども。
福岡市長	去年はどこで実施したの?
田中文化振興係長	ずっと市庁舎です。

	議事の経過
発言者	発 言 内 容
福岡市長	同じ場所ですね。
田中文化振興係長	なるべくたくさんの作品を展示しようとしていますので。
市民	後ろから見られないです。近くでないと見せていただけないです。
福岡市長	たくさん展示するために、ごちゃっとしているということで、すみません。 それでは、次は。
市民	私も高齢者なんですが、バリアフリーを今度はたくさん作るとおっしゃったからうれしいです。 それから、気軽に集えるって、気軽というのは、無料にしてくださいとは言いませんけど、負担がかからないというか、何回でも借りられるようなという意味の気軽って、私は思っているんですけど。 それから、交流したいというのは、やっぱり小学生とか中学生とか成人前の方の話というのか、テーマを決めるというのは深く考え過ぎなのかわかりませんけど、このごろのテレビなんかでも見ますけど、何を考えているのか、自分がしっかり考えていることを聞きたいんですよね。そういうスペースで、皆さん高齢者やから聞きたいと思うんです、今の世の中の人たちの考えていること。二十歳前後でもいいですし、年代を別々にしてでもいいですし、そういう交流を、聞きたいスペースというのか、でき上がった後の話ですけど、そういう市民会館みたいなんです。
福岡市長	ありがとうございます。
市民	市民会館を作るという前提の話なのか、それとも私も茨木に来て40年になりますけど、なかなか公共施設というのは、かなりの耐久年数、40年も50年もたっているところが多いんじゃないかと思うんです。それで、私もこの会議に出席するということで、茨木のいろんな施設ですか、ユーアイホールとかクリエイトセンターとか、同じようなものが何かあるんじゃないかなというのがイメージ的にありますんで、その辺の利用をされているのか、何か市民会館を作るんであれば、その辺のところをもっと考慮して、作ったらいかがかなと思うんです。これから茨木市も今の図書館、大きい中央図書館があったらいいと思うんですけど、ほかにも消防署に関しても、いろいろ古い施設がかなりあると思うんです。そういうのを優先してやるのかとかですね、そういうのをもっとはっきり明確にされて、物事を動かしていったほうがいいんじゃないかなと、私は思うんです。

議事の経過	
発言者	発 言 内 容
	ものを建てると維持管理費というのが非常にかかると思うんです。何というか職業柄あれですけど、昔と違って電気設備だとか、いろんな施設に必要なものありますね。だから、多分、昔に比べたら倍以上かかるんではないかと思うんですが。それで、施設をつくるということは、その維持メンテナンスもあります。で、また古くなれば更新しなければならないということで、非常に税金と言ったらおかしいですけど、その維持管理費がかかると思うんですよ。ですから、そんなにものをつくるんじゃなくて、立命館さんの広場ですね、ああいうものをここに、市民会館をもしも壊して何かするんであれば、そういう形のものでもいいのかなと思う。まだ、いろんなそういう施設が利用できるか利用できないか、私もそういうのに全然、利用したことがありませんのでわからないんですけど、100人程度か200人程度の施設が、この近くのいろんなところにあるんですわ。市長さんが、先ほど最初に言われていたユーアイホールですか、あれも耐震の問題があるとかですね、その辺も踏まえて、全体のことを考えてスタートしたらよいのかなというのが、私の考えなんです。何か1つの、市民会館を壊すから市民会館を作るということじゃなくて、もう少し相対的に、それはシンフォの人たちにはいいかもわかりませんけど、どれだけの利用価値があるのか、何千人も入る大きいものを作って。ここは非常に便利なところで、大阪へも20分ぐらいで行けるところですんでね、山里って言ったらおかしいですけど地方のところを踏まえて考えたらどうかなというのが私の考えなんです。以上です。
福岡市長	建てかえるものが多いのではないかというお話はまさに、今日も自己紹介の中に出てきたように、40何年前あたりに、万博のあたりで一気に開発が進んだまちですので、おっしゃるように更新の時期がきているものが非常に多いという状況です。特に、大きなところで言うと、市民会館だったりするのですが、駅前の広場、阪急茨木市駅もJRのほうも、両方西口ですが、少し古いマンションになってきているような、というだけでなく耐震がアウトだったりするんですけど、そこここで新しいまちをつくりかえないといけないということになっているんです。その中でじゃあ何からというところで、ちょうどタイミングよくと言ったらおかしいのかもしれないですけど、市民会館という、本当にこのまちを作っていく方向性が定まると言ったらあれですけど、一番頂上になるものから今、手をつけていこうという状況です。あとは、いろんなホールがあるから、市民会館のあとに市民会館をなのか、

	議事の経過
発言者	発 言 内 容
	市民会館の後には違うものなのかという、一つ大きなテーマとしては出て くるのではないかというところです。このタイミングで僕が言うのもおか しいのかもしれないですが、大きなホールを作るとなると、席が埋まるの かなという、作ったはいいけど。
市民	高槻なんかはね、現代劇場、あれは、もう営利目的です。だけど、茨木がつくって、高槻が横にありますから、それだけのお客さんが入って、あれは業者が入りますからね、それがやっぱり目的ですから。だから、同じようなものはつくれませんわ。また違う意味の茨木のものを。
福岡市長	それは、きっちり需要予測等を実施して、考えていくんですけど。吹田に もメイシアターが。
市民	メイシアターがある。だけど、メイシアター、何に使っているのと、知り合いの若い人に聞きましたけど、成人式に行ったけど、別に何も入ってへんやんという、こういうような反応でね。ここも一緒か、どこも一緒やねと。
	だから、目的あるものをやっぱり作らないとだめやと思います。林さんが言われるように、北摂でこんなものあれへんよというようなものやったら、それこそどっこいしょでしてもいいし。よそにあるものを、二番せんじはだめですよ、どこでもあるようなことをしていたら、と思うんですけど。
福岡市長	よそにあるんだから、茨木にも必要だろうという意見も。
市民	それは、40何年の万博のときに、みんなそれで同じようなものを作ったんですよ、そうでしょう。そのあと合併して田舎でも、特産の木を使ってって、ドーンと建っていますよ。これでいいの?って思いますよ。あと、どうしているんやろうと。
市民	国が悪いんです。補助金を出して、同じものを作らせるからです。
市民	国ですか。
市民	だから、それに使わなければいかんというのもわかりますけどね。やっぱり、国が補助金を出してつくらせるということ自身が本来はあかんと、私自身は。だから、皆さんが同じものができると言うのは、みんな補助金のせいだと私は思うんですけど。

	議事の経過
発言者	発 言 内 容
	そら、国からお金をもらって作るのがいいのか、それとも市民自身でつくるのか、また民間にするのかという、いろんなコツはあると思うんですけどね、作るにしても。
福岡市長	三好さん、どうですか。
市民	私は10番を書いたんですけど、茨木市の財政が全くわからないので、本当に新しい市民会館みたいなのがまた作れるのか、それとももう難しいのか、そういうふうな財政的なこともお聞きした上で考えんとわからへんなというのが、一つです。 それと、一応阪急茨木市駅とJR茨木駅の中心にあるので、みんなが集える魅力的なスペースができたらいいなと思います。だから、あそこはあんなんがあるんやという、やっぱりさっき言われたみたいに、他市の人も行きたいなというぐらいの、そういうものができたらいいなと思います。
福岡市長	それでは財政について。
秋元企画財政部長	企画財政部長をやっております、その前は財政課長もしていました。 茨木市は市民会館がつくれないような財政ではないです。ただ、茨木の収入は、大体800億円ぐらい、税収は440億円ぐらいで、平成9年には500億近くまでいったこともありますが、その後、落ちまして、今、440億ちょっとぐらいまで回復しています。しかし、その回復度合いと比べて、扶助費といいますか福祉の経費は70億ぐらいから250億ぐらい
市民	と、平成9年から20年で、約3倍以上に増えているという状況です。 茨木だけじゃなくて、どこのまちもそうなっている厳しい状況ですが、た だ茨木は、堅実なまちという財政運営、行政を行ってきたというのがあり ます。堅実というのは何かと言いますと、将来に負担を残さないように、 残さないようにと、やってきたということです。今は、たくさんお金があ りますが、今それを使ってしまうと、今後、維持費ばかりかかってしまう とか、ないときに無理して借金をしてしまうと、また将来に向け負担が残 ってしまう、そういうことを非常に考えてきたまちでしたので、今、地方 財政は厳しいですけども、そのおかげで、そこそこの立ち位置にあるとい うのがあります。 ただ、市長がおっしゃったように、たくさんしなければいけないことがあ りまして、駅前の再整備、市民会館、後々にごみ処理施設も更新しなけれ ばいけないという状況もあります。そんなことを一度にはできませんので、 そこを順番をつけてやるということさえ頑張って、また、これまでと同じ

	 議事の経過
発言者	発 言 内 容
	ような堅実な財政運営を頑張れば、やっていけるという財政状況をもとに、いいものを作りたいと、そう理解していただいたらいいと思います。
福岡市長	市民会館用の積み立ては、現在でいくらぐらいですか?
秋元企画財政部長	今、24億円積み立てしています。グレードにもよりますが、およそ、市 民会館を建てるに当たって100億はかかるとみています。そのうちの2 4億円は今貯めているが、あとは借金もしなければいけないようになると いうことは算段しております。
市民	それは今の施設を壊す費用も入っています?
秋元企画財政部長	壊す費用も入れてです。入れて、70億から100億ぐらいがかかる経費 かなという感じですね。
福岡市長	財政につきましては、大阪の南のほうは結構大変そうで、北のほうは比較的よいという感じです。こんな話を、僕が言っていいのかわからないのですが、市長として半年させていただいて、皆さんからのいろいろなご要望も頂戴しながら、やらなければいけないことがたくさんあるなという感じです。しかし、実際、財政の規模からいくと、10、これをやったほうがいいという中から、1か2しかできていないというのが、自分自身の今の感覚です。あとは、後に赤字になったり、つけを残したらいけないから、泣く泣く8ぐらいの、あそこの道路もやったほうがいいなと思いながらも後に回すというようなイメージです。これがあっているかどうかというのは定かではないですけど、なかなか似たようにできるものではないなというところです。ただ、健全財政は職員が一生懸命守ってやってくれております。よろしくお願いします。
市民	僕、やはりこだわるのは、一つの事柄に特化するような考え方は、需要を 絞り込むから、効率性とかいろいろな立場から考えたら、もったいないん じゃないかなと。 もう一つは、市民会館は今まで何かいろいろな催しの場でね、あそこを使 わせてもらったことありますから思うんですけど、やはり市民の30何万 人いはる人たちの接着剤の役割を持った有効な建物であってほしいなとい うのが僕の考え方なんです。

	議事の経過
発言者	発 言 内 容
	もう一つ、居ずまいを正して使わないかんような、そういう場でなくて、下駄ばきでも行けるような感じの、庶民的な場であってもらいたいなというのが、私の要求です。 先ほど財政の中で言われたんですけど、100億の建物って、どのぐらいの、身近な建物としては、例えがあるんだったら教えてもらいたいんだけど。生涯学習センターだとか、クリエイトセンターとかいろいろ市の会館ありますね。その中で、100億つて、どのぐらいの建物が建つんかな、どれほど立派なものなのかなというのは、僕はよくわからへんからね、要するに逆に。 で、何回も言いますけど、今まで市民会館では、僕が知っている範囲では、夏休みに子どもたちに映画を見せるような場に提供したりとか、もう1つは何かの集会で、1,000人規模の人間を集めてきて大会をやったとか、そういうような場で1回使わせてもらったことがありますので、そういう気楽に参加できるようなところ。昔、市民会館で、何かの集いで、地域で集まったときに、打ち合わせの場で使わせてもらった。そこは今、クリエイトセンターとか福祉文化会館とか、代わりにできるところもありますからね。そういう重複するところもありますけど、その使い勝手をうまく考えてやれば、いろんな目的のものが、いろんな階層の人たちが使えるような場になるんじゃないかなと。そういうような考え方でやってもらえたらありがたいなというのが、私の考えでございます。
福岡市長	はい。 では次の方、お待たせしました。
市民	先ほど、市長が、駅前とかいろいろしやなあかんことがあるからとかおっしゃったけども、私のいとこに、ちょうど阪急のほうの商店街の世話役をしていた、もう亡くなりましたけど、何ぼ頑張っても無理やと言うんですわ。どういうことやと言ったら、やっぱりこれは、そういう風が吹かんと無理なんやと、みんながそういう雰囲気になる。だけど、この市民会館は風じゃなくて、最初にあった市の問題ですからね。だからそっちのほうは、ちょっと置いておきなはれ、言うたら悪いけど。あんなんは民間が本当言ったら必要、町内から売ったりなんかして、それで囲ってまたマンションか何かをして、そうなるでしょう。市が何かを、駅前を良くしようと言ったって、それはJRの駅前を良くするだけで、こっちは阪急の駅前を良くするだけで、市を良くする問題じゃないんです。便利になるだけの話やからね。それよりも市のすることがあるでしょう。やっぱり市民会館とかいうのでね。

	議事の経過
発言者	発 言 内 容
	それで、私、これをしているときに、先週の土曜日の朝日新聞の別冊の『be』というやつに、岩手県紫波町のオガールプラザというのをこしらえて、もちろん、もともとの町の職員でございました、それが立ち上げて、あらゆるものを、広い市の空き地があったらしい、それを借りて、民間を入れて、そして今までのまちにないもの、そんな大きいものじゃないですけど、だけど施設はすごく充実している。それで、研修に羽曳野かどこかわかりませんけど、1人職員が行ってますねんけど、研修費もちゃっかり取っていますねん。それしながらでも、全国から問い合わせがあって、今注目されている施設なんです。道の駅によく似たところもあるんですがね、もちろん図書館もありますし、劇場も、ホールもありますし、言わはるような多目的に何か使うあれもあるし。だけど、民間がするんです。建物は、市がアシストというか、町が作ったんかもわかりませんけどね。だけど、もともと町の職員ですから、そのあれがわかるように。それで注目を得ているというのがありまして、ああ、なるほどなと思って。それで、向こうはオガールプラザ、「ガール」というのがフランス語で「駅」という意味だそうです、オは向こうの方言の何かで、オガール。 それで、私、茨木市の市の駅として、シオグラゾネビルという、ビルガール、勝手に名前をつけてますのやけど、誰でも利用ができて、そやけど市が全部負担しやんでもいい。そこに入っているのは全部民間のあれでよろしいねん、貸したらよろしいねん。それで、市が何ぼかでももらったら、維持費は何とかなる。もちろん物産展、物を置こうが、それで茨木の物も紹介できますし、いろんなことが活力を出すと。 まずからな、市役所があったら、一生のうち何回かは来られるでしょう、見る機会がある。ああなるほど、市も頑張っているなとか、市にこんなんがあるのかと。建物やどんなんが建つかはわかりませんよ。だけど目的が何にするかということがやっぱり大事と違うんですかね。ものを建てるのは、何を目的とするかという。建物やそんなことは二の次、それにいるものが建物にありますかられ、先に目的をしやなあかんの違う。今のオリンピックの場所と同じですわ、ボート会場と。
福岡市長	1時間も超えてきましたので、休憩を入れたいと思うんですが、今、目的と言われたように、市民会館というのは、このまちをどうしていくかという部分の一番の頂上部分というか、取っかかり部分だというふうに捉えています。そういった中で、長年お住まいになった皆さんから、次は一旦、市民会館でも結構なんですが、市民会館から少し離れて、この茨木という

	議事の経過
発言者	発 言 内 容
	まちがどういう方向で行けばいいのかというのを、休憩後にお聞きできた らと思います。例えば、外国人を観光で呼んだらいいのかとか、昼も夜も にぎわうようなまちがいいのかなども、忌憚のないご意見を、休憩後にい ただければと思います。
	(休 憩)
福岡市長	今、ご意見をいろいろ頂戴した中で、せっかく職員がいますので、皆さん の意見を頂戴した上でということで、部長2人に一言もらえますか。それ では、秋元部長。
秋元企画財政部長	第1話が、若い、10代、20代でして、第2話が文化芸術ホール建設基本構想において意見聴取させていただいた団体という中で、今回が一番、いろんな視点、多様な意見があったような、やはり年齢の、年の功というのはあるなというのが、感じております。特に思いましたのが、本格的なホールが欲しいという意見は、他の回でもあったんですが、今回は、その費用面を考慮した上で、できるものをという意見があったのが、今回の60歳代以上の方からいただいた意見の一つの特徴かなと思っています。他にも、若い人の意見も聞きたいであったりとか、いろんな世代の方と集えるスペース、またはそこを誇れる、さまざまな民間活用をして、いろいろなイベントもできるようなスペースということに関しましては、若い世代の意見もありましたし、やはり皆さんも、せっかく市の中心地ということで、そういうのを望んでおられるなというのを思っています。ホールというのが根強い人気であるのと、プラスいろんなスペースというものについてが共通認識かなと思っています。あと一つ、先ほど細原さんが、経費の100億円について、それではピンとこないとありましたので、調べますと、市役所の南館、これが平成9年に建築したのですが、約70億ちょっとで建っているということです。また、中央図書館が平成3年で、これが約45億円。その時々の建設資材の動向もありますし、施設の仕様もありますので、それぞれ違いますけど、南館が70億ぐらいの建物ということを参考ということで、よろしくお願いします。
田川市民文化部長	市民文化部長の田川です。 今、企画財政部長が申し上げたのと若干かぶるんですが、今までもいろい ろ市民の方の声を聴かせていただきました。私が所管するのは、文化芸術 をどういう形で推進していくのか、その中で、例えば市民会館がいるのか、

	議事の経過
発言者	発 言 内 容
	あるいはそれに類似して文化芸術ホールとかいう言い方をする市もあるんですけど、どういう形でお考えなのかも興味深く聞かせていただきました。それで、今回の年齢層が一番高いグループが、すみませんが、高齢者という言い方をさせていただきますけど、お金の心配をしていただいたという、今までに余りないことでしたので、これは市としては、どういかすかと言って、まだまだ体力もあると申していますんで、それは何らかの機会で言っていただいたらいいかとは思います。もう一つ、交流という言葉、市がいろいろ進めていく中で非常に重要な言葉です。と申しますのは、市もいろいろ進めていく中で非常に重要な言葉です。と申しますのは、市もいろいろ進めているんですが、皆さんの力を借りないとできない、別の言い方で、協働と申しているんですけど、そういうことも含めながら、どうまちづくりをしていこうかなと。先ほどお伺いした中で、老人クラブが卓球をしていると、これは高齢者の方の居場所づくりの一つで、ひょっとしたら高齢者のいきいき広場か、まちがどデイハウスか、そういうところじゃないのかなと思っているんですけど、そういう最寄りのところで活動するというところも大事にしていきたいんですけど、この市の中心部も、高齢者のかかわりでどういう施設がいるのか、あるいは場合によれば、要らないのかということも、これからまた皆さんの発言の機会がありますので、どういう形でしていけばいいかということをお伺いしたいかなと思っております。あと、もう一つ、多目的か専用施設、これ、非常に悩むところであります。とちらがどういいのかということについても、いろいろ検討してまいります。なお、いろんな施設ができていますけど、それぞれ微妙に規模が違ったり、目的が違っていますので、余りかぶった施設は、今のところ、それほどはないんですが、今後もそういうことを意識して、担当課として、可
	能性があるなら整理したいなということは思っております。 以上であります、よろしくお願いします。
福岡市長	皆さんからもちらほら出た交流ですが、若い方、10代、20代の方からも「多世代で交流できるものを」という、両方から、全員が言っているわけではないんですけど、そういう意見が上がってきたというのは非常に興味深いなと思って、僕も聞いていたところです。それと、市民会館ということでお集まりいただいているんですが、市民会館を一番上に据えた上で、まちづくりの、しかも茨木の方向性みたいなところ、先ほども言っていたように駅前の広場の問題であったり、その中心市街地そのものを活性化させるためにどうしたらいいのかという議論も、
	非常にしているところです。山間部では、安威川ダムが平成32年にできて、周辺整備をどう使っていこうという話があったりとか、新名神もでき

	議事の経過
発言者	発 言 内 容
	ますし、まだ彩都がどうなっていくのかというところも論点です。 万博で大きく広がったこのまちが、もう一度、どういう色で塗り直すのか というところが、テーマになっているところですので、ご経験を踏まえた ご意見をいただければと思いますが、また林さんからですと恐縮ですので、 高柳さんあたりからお願いしてもよろしいですか。
市民	正直言って、現役の頃は、市のためとかというのを余り考えていなかったです。現役を離れて、要するに、毎日が日曜日のような生活になってきて初めて、何かこのまま歳をとっていくのも何やなということで、その辺を考え出したというのが正直な話。だから、今回これをいただいて、じっくり考えようかなって、これから考えようかなって。今のところは思いつきの意見しか出てこない。ただ、先ほどの道の駅だとか、いろんなご意見が出てますけど、私も去年9月以降、免許を返納しまして、ドライブが趣味だったんですけど、全国の道の駅、相当回りました。近畿は今、120件近く、道の駅がある。もちろん全部行っています。全国で言ったら、1,050ぐらいですかね、北海道は行っていないんですけど、青森までは行きました。ただ、昔はよかったけども、だんだんさびれてきているところ、それから昔は余りよくなかったけども、非常に発展してきているところ、その違いって何だろうということは、これから考えていこうかなと思うんです。今までは、何でかなというぐらいな感じでしか見ていなかった。先ほど、どなたがおっしゃった気楽に行ける、下駄ばきでも行けるというようなお話がありました。それが、やっぱり一番根本にあるんじゃないかなと。モーニングを着ていかんと入られへんとか、そういう感じのものだったら敷居が高いんかなと思います。
福岡市長	ありがとうございます。藤本さん、いかがですか。
市民	そうですね、まちおこしと言えば、いろいろ全国でやっているんですけど、 茨木市も歴史の専門家の方にいろいろひも解いてもらって、お宝みたいな ものがあれば、銅像でもしてみえたりするとか。どうしてとかって、皆さ んに注目していただけるような、そんなに上等ではなくて、ちょっとした 何かポイントとしてされたらどうです?
福岡市長	ありがとうございます。桃井さん、いかがでしょう。
市民	そうですね、市内でそういうものを作るというのは、なかなか、建物だと

	議事の経過
発言者	発 言 内 容
	か、何かで、あれしますので、茨木の場合、山のほう、今開発しているようなダムとか、これ何年かかるか、ちょっとわかりませんけれども、ダムだとかその辺で、遊歩道とかですね、何かオウチョウと言ったらおかしいですけど、そういうもので何かまちおこしみたいなものを考えたらどうかなというのは。都会でこうやっても、正直言いまして、この茨木というのはすごく大きい都市、高槻、吹田さんとかいろいろございますんでね。それで、出ようとしたら、すぐ大阪に出ますんで、やっぱりとりあえず自然をいかして、何かそういうものを、考えるんだったら遊歩道ですか、その何とか自然道というのか。そういうものを1回また、ご検討されて、せっかくキリシタンのございますね、山にあるいろいろ、それから、何とかいう郷もございますので。
福岡市長	見山の郷ですね。
市民	その辺で、山のほうに向かって、今いろいろ団地でもできていますし、そ ういうものを考えられたら。まだまだ上のほうに自然が残っていますんで ね。というのが私の意見ですけど。
福岡市長	この茨木市は、上半分が山で、下半分がまちというので、今、特に取り組 もうとしているのが、わざわざどこかの山に行くぐらいなら、茨木の山で 何とか楽しんでもらえたらというのが。渋滞なく行けると。
市民	私も、今市長さんが言われたダム関係の土地か何か、結構いろいろあると 思うんだけどね、その辺で何か、自然的なものを考えられたらいいのかな というのは。そうするとお年寄りでも行けるんじゃないかなというのが私 の考えです。
福岡市長	ありがとうございます。三好さんからは。
市民	その財政の件で、今いろいろわかりましたので、改めてどういうふうにしたらいいかというのは、また考えたいと思います。具体的にそういうのが全くわからなかったので、どうかなと思って、余り考えられてないんですけど、これから真剣に考えたいと思います。
福岡市長	細原さん、いかがですか。
市民	やはり、僕はこだわるのは、若者にとっても、年寄りにとっても、いろん

	議事の経過
発言者	発 言 内 容
	な人たちが集まって何か楽しいことができるような場としてあってほしいなという思いが原点です。 今、なぜそう言うかといいますと、私が住んでいるような北春日丘なんかでも、やはりゴーストタウン化しているんですね、年寄りばっかりで。やはり若者が集まってこなかったら寂しいし、それで自分自身がやりたい趣味なんかでも、なかなか自分で音頭をとって、手をあげて、こっちに集まれよという感じでやれるような、私自身がそういうタイプじゃありませんので、誰かがやってくれたら、そこへ寄せ集まって行こうかとか、楽しもうかとか、こういうようなタイプですので、ある程度やはり、いろいろな核が寄せ集まって大きなものになるような場としての建物、というんかな、そういう場ができたらいいなと。そんなら、若者にも接するし、同じ年齢の年寄りたちとも合流できるし、働き盛りの人たちとも、どんな考え方してはるのかなということも、交流の場にできますから。そういう接着剤になるような場が僕はなくされるというのは、やはり市民自身がばらばらになっていくと、楽しくない、ゴーストタウン化するような茨木市になっていけへんかなという点で、一番懸念するところなんです。だから、そのためにも、僕は気軽にね、安く、僕らみたいな年金生活者でも気軽に行けるようなところであってもらいたいなというのが、私自身のイメージでございます。まだ具体的にはよくわかりませんけども。
福岡市長	ありがとうございます。
市民	JRと阪急の間、極端な話を言うと、車はストップと。歩く人間が多くなると、車は遠慮します。そのためには歩く環境を作らないといかんと。だから、歩道を広げて、ずっとアーケード、アーケードと言いますか、雨でも行ける、それで、車いすやの何でも通れる、人優先のまちづくり。最小限、一方通行かなと思うぐらいに。それができたら、すごいまちになるなとは思いますけどね。夢ですね。やはり、道は人が作ったんですよ。車は後でしょ。だのに、今、道を通るにしても、車に遠慮しながら歩くのも。まちの中でそういうのがあってもいいんと違う。そら、田舎だったら距離が遠いですもん、だから車やないと歩いて山道こんな行けませんもんね。だけど、夢としたら、高安筋でも南北はこれはしょうがないわね、横の通りは人が気楽に。そうしたら、その周りのショッピングやら何かいろんなものが、歩くことによって、今度はそれに人が寄っていくだろうと、自然と。
市民	ただね、それに反論するわけじゃないんですが、茨木市の心斎橋通りがあ

	議事の経過
発言者	発 言 内 容
	りますね、あそこだけでも5、6件、シャッターが閉まっている店なんです、人が減っているんです。周りのスーパーに全部奪われている。
市民	そのために、その市民会館跡地を、人が集まる場所に作ったらどうやって言うてるんです。そしたら、人が集まってくるから、そういうことになる。駅前は放っておいたって何とかなるでしょう、と思う。一番初めに、やっぱり中心地、核がなかったら。ドーナツ化現象になったんが、その原因でしょう。核がないから、周りに、周りに行ったんでしょう。それで、周りが今度、今あるようにさびれてくるわけや、年代が変わってくると。やっぱり中心の核、コアですわね。これが、一番大事かなと。そのために、市に、皆さんに頑張ってもらいたい、そう思います。
市民	私も40年住んでいるんです、本当に非常に住みやすいところです。確かに、福祉のほうも充実していますし、住みやすいがために、みんなが幸せボケになっているんじゃないかなと思うんです。だから、一番顕著に出ているのは、選挙のときの投票率、30%。
市民	日本人全部ですよ。
市民	今回、茨木市に限って言うんですけど、先ほどちょっと言いましたけど、もっと市政に参加してかないと。で、議員さんと役所の方々だけで決めたものを下におろすんじゃなくて、我々市民も、逆に言えば関与を、議会に参加して、どういう立場でするかはわかりませんけど、そういう場もあっていいんじゃないかなと。今日、こういう場を設けていただいて、非常にいいなと思っています。本当に言いたいことが言えるという。それが直接伝わるということですね、一番いいのは。人を介して伝えるんじゃなくて、直接市長さんにお話しできるという、これが一番いいんじゃないかなと思うし。また、本当に、高齢者とさっきおっしゃいましたけど、まだまだ年寄り、元気です。私も今60何しか、実は、この歳で教室を開きました。仏画の教室を京都のほうで、今度11月から教室を開くんですけど、まさかこの歳でやるとは思わなかったです。幸い、生徒さんも来てくれはって、小学校2年生の子が来てくれました。すごいなと思いました。こんな小学生、私の孫のような子が仏画を習いたいと。
市民	本格的なものですの?

	議事の経過
発言者	発 言 内 容
市民	いや、本当に気楽に描ける仏画。
市民	模写するとか、そういうのじゃない?
市民	もちろん模写から入りますけど、簡単に描けるようなものからやっています。楽しく描こうということで。だから、そういうことも含めて、まだまだ若いな、できるなと。まだ老けるのには。皆さんも今、コーラスだとか、油絵だとか、詩吟だとか、いろんな趣味を持たれている。そういうものは、やはり元気だからできるんであって、若い人たちの意見も、若い人たちは政治に参加していただきたいし、我々は何かこういう、いろんな場をいただければ、経験も生かして、しゃべり、話題にできるんじゃないかなと思います。そういう意味では、本当にいいまちなんで、余り幸せボケしないように。本来、どんどん市役所のほうから、これをどうするねん、どうするねんという、逆に市民の人たちに問いかけていただく。市はこうするけど、どうする。今回も、市民ホールをやるときに、新しい市長さんがこういうことをされた、非常に画期的だと思うし。今までは聞かずにつぶすか、勝手に建てて、おまえら利用せいというのが、今までのやり方だったんですね。だから、そういう意味では非常に開かれてきましたんでね。そのかわり今度は我々も興味を、参加していかなければいけないと思う。そういう意味では、いいまちなんで、ますます人が集まるまちにしていきたいと思います。
福岡市長	ちなみに、茨木市の最高齢の方、107歳で、非常にお元気です。
市民	え、100?
福岡市長	107歳、あと40年あります。
市民	まだまだ若造だと。
市民	もう今日は何にも考えずに、気楽に参加させてもらって、本当にここへ来 てびっくりしたんです、人数が少ないので。それで、何も勉強してこなか ったのでお恥ずかしいんですけど、ちょうどまちの中心ですので、さっき 細原さんがおっしゃいますように気楽に集まれるものを、まちの中心にし て作っていただけたら、すごくうれしいです。 財政が許しましたら、コンサートホール、茨木にはこんなすてきな音響効

	議事の経過
発言者	発 言 内 容
	果のいいホールがあるって、皆さんに羨ましがってもらえるようなホールとか。 それで私の理想は、立命館のあの、今の感じなんです。すごくいい感じですので、ああいうふうなのを、つくっていただけたらうれしいんですけれども。本当に楽しいです、立命館に行きますと。友達がすぐ前に住んでいますもので、何かあったら、立命館へ行こうと言って、行ってお茶したり、しゃべったり、いろんなことをして帰ってくるんですけれども。
福岡市長	ちなみに、斉藤さんのお子さんとかは、どちらにお住まいなんですか?
市民	茨木に2人おります。それで、1人は豊中にいます。
福岡市長	なかなか今、どちらかというと茨木に住んでいらっしゃらないのかなと思ったら、意外に茨木に住んでいらっしゃったなと思ってね。
市民	同居、一緒におりますので。 私の父が、やっぱりずっと茨木でしたので、いつも口癖だったんです、茨木は本当にいいところやと言って。旅行して帰ってきたら、茨木のいいのがわかると言って。私の父の口癖で、旅行でも外国にも行きましたし、いろんなところに行ったんですけど、帰ってきたときはいつも、やっぱり茨木はいいなが口癖だったもので。 それと、先ほどもおっしゃいましたけど、府のバスとか、市民病院ですか、そういうものは茨木にありません、ないですよね。もう、そんなの要らないと思うんです。循環器病研究センターも近いですし、阪大病院も近いですし、それからバスも阪急バスが結構走ってくれていますので。だから、そういう赤字になるものがないということはすごくいいことだなと思って、いつも感謝しております。
福岡市長	ありがとうございます。初めて聞きました。市民病院と言ったら、もうつ くれという話しか聞いたことがないので。
市民	あんなのは要らない。
市民	あれは要らないでしょう。
市民	要らない。

	議事の経過
発言者	発 言 内 容
市民	要らないです、阪大病院と循環器病研究センターがありますもの。
市民	前にありましたよね、ご存じやと思いますけど、ね。
市民	はい、汚いのがありました。
市民	ねえ。
市民	あれはもう病院があると、負の遺産になるんじゃないですか。
福岡市長	よその市長さんからは、茨木は市民病院がなくていいねと言われます。
市民	私もそう思います。それはもういつも。市民病院がないのと、バスがない の、感謝しております。
市民	それも、専門病院がやっぱり大事ですね。
市民	そうです、だから循環器病研究センターと阪大病院とありますから。
市民	やっぱり専門病院のところやないと。 市民病院やったらあらゆる科になるでしょう、そしたら、もうだめですわ。 信用がなくなりますわ。先生の程度、言ったら怒られますけど、やっぱり そうなると引き抜きとかいろいろありますやん、いい先生という方だと。
市民	もう本当に、うちの主人も循環器病研究センターと阪大病院にお世話になったんですけども、近くですからありがたかったです。
福岡市長	市民病院のお話、今の保健医療センターのところに昔あって、結局、市民 病院としてあったのが12年間だけです。で、赤字が結構膨らんだという こともあって、今の博愛に引き取ってもらったか何かですね、確か。
市民	その後も、誘致に、神戸のこの病院を、若宮ですか、ちょっとあったけど、 それも没になったと、大分前の話ですけど。 もう要らん、茨木は要らないでしょう。
市民	本当に市民病院がないのがありがたいと思います。 それと、話が変わりますけど、新快速が茨木にとまるという話、一時、す

	議事の経過
発言者	発 言 内 容
	ごく出ていたように思うんですけど、あれはどうなっているんでしょうかしら。
福岡市長	あれは、出てしまったからつぶれたという、まだ早かったのに、出てしまって。
市民	ちょっと早過ぎた。
福岡市長	実際に決まっていたかどうかもはっきりしませんが、今、そういうご要望 も頂戴しているので、もう一度、一から話を積み上げていっている最中で す。また少しお時間、一からということになってしまいました。 すみません、お願いします。
市民	私、この場所に出るのに、何も勉強をしてこなかったんですけど、いろんな方のお話を聞いて、かなり啓蒙されたような感じなんですけど、茨木市は先ほど、どなたさんかがおっしゃったように南北に長い地で、しかしながら中心地はちょうどほぼ真ん中にあるということ、しかも交通の便がJR、それから阪急とその真ん中に市役所があると、行政の中心ですね。そして、文化の中心も、中心に近いところにあれば一番いいなと。私、なぜそういうことを言いますかと言ったら、今の生涯学習センターね、あそこなかなか不便なんですね、交通の便が悪くて。ストレートで行けない、必ず1回乗りかえないかん、私の住所から言いますとね。ですから、こういうところはやっぱり利用しやすい、いわゆる交通の便のいいところに、ということになりますと、やはりここが一番だと僕は思っています。阪急からもJRからもね。それで、今、市長さんがおっしゃっているんで、やっぱりそのときに道を、道なんですね。アーケードの話も出ましたけども、そういうものもあればかなり。大阪の天六の商店街じゃない、あそこまでは無理でしょうけど、ああいう形ですと非常に、人口も全然違いますから、市の規模も違いますからあれなんですけど、あれはやっぱりアーケード、あれだけの長いところを常にウィークデーでも相当人がたくさん、ですから、ここもやっぱり、そういうのをつくれば、今よりはさらに人が歩く、人が多くなるんじゃないかと。そうすると利用者も多くなる、ということで、そういうことも私、市長さんからお話を聞いて、なるほどなという感じがしました。そういうところも考えていかないといかんのかなと、こう思っています。
福岡市長	ありがとうございます。

	議事の経過
発言者	発 言 内 容
福岡市長	お待たせしました。
市民	私のところは、高槻から引っ越してきたんですけど、不動産屋さんの話だったんですけど、高槻は赤字財政というか、茨木市はこぢんまりしているけれど堅実だし、いいよって言われて、本当に借金とか破綻とかそういうのがないというので、私はすごく、その辺は気に入っているんですけど、これからもぜひ破綻しないような、借金の地獄に陥らないような健全な市でいてほしいなと思いますもんで。今日も初めて、お話を聞いていたら、本当にこの市民会館のある場所というのは市役所の前だから、本当に私らも、コーラスを教えてくれる先生でも、よそから来ているんですよね。で、もうすぐわかりますよね、この市役所の前ですって言ったらね。本当にメインストリートに面しているんで。しつこいようですけど、やっぱり、もし代わるものができるんであるにしても、ぜひこの場所をいかして、再生させてほしいと願います。
福岡市長	それでは、もう遅めの時間なので、あまり皆さんも長く引きとめてもというところもございますので、そろそろ終了させていただこうと思います。今日、多くの方が言われていたように、いろんなご意見を持ってきていただいた部分もありますけど、お話を聞かれて考えを新たに、これからまちで過ごされるに当たって、まちの見方も少しかわってきたりするのかなというところもございます。時間を置いて、またお集まりいただくような機会を設けさせていただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。いずれにしましても、今日は非常に活発なご意見を頂戴できたと思っていますし、市民病院は要らないというお声のような、ふだん、私が聞いている意見とは逆の意見もいろいろ聞けました。いずれにしましても、いろいろご意見を頂戴できてありがたく思っていますし、しっかりと皆さんの意見は踏まえて、着実に進めていきたいと思っていますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。今日はどうもありがとうございました。
小西政策企画課長	それでは、これをもちまして市民会館 100 人会議を、閉会させていただきます。本日は誠にありがとうございました。
	以上